

# SKY コーナー

## 「2022年度 安全推進大会& SKYフォーラム」開催

「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ!

情報通信エンジニアリング協会 九州支部

### 1. はじめに

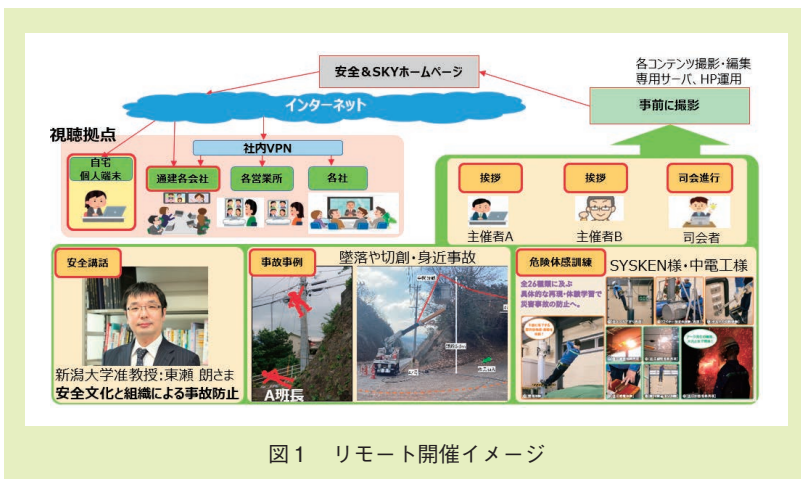
2023年2月13日(月)から2月28日(火)まで、NTT西日本九州支店と一般社団法人情報通信エンジニアリング協会九州支部との共催により「2022年度 安全推進大会&SKY

フォーラム」が開催されました。

今回も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、例年の集合による開催から前年同様リモート開催方式とし、大会動画をWEB配信することで参加各社の事務所や自宅からも視聴できる仕組みを構築しました。

### 2. あいさつ

冒頭、NTT西日本九州支店梶原支店長(写真1)より、「2022年度も西日本管内で重大な事故が発生し、中には作業員の方が命を落とす事故も発生しました。事故を起こさないためには、皆様と一緒に取り組む必要があります。事故をなくすための対策や装備等についても、過去から積み上げた歴史があり、それが皆様をお願いしている作業手順書・チェック項目・危険予知トレーニング等です。過去からの積み重ねを疎かにせず1つひとつ丁寧にを行い、作業する前には確認してほしい。気持ちを新たにして、元気に職場や家に帰るようお願いします。そのためには、年齢や役職に関わりなくお互いに率直に声掛けをして、自分と周りの命を皆で守ってください。皆様が2023年も明るく楽しく元気で安全な毎日をご過ごせることを心から祈っております。ぜひ一緒に安全な作業を作って行きましょう。」とごあいさつがありました。



項目	実施概要
幹部挨拶	オリエンテーション NTT西日本 梶原九州支店長 挨拶 情報通信エンジニアリング協会 熊本九州支部長 挨拶
安全講話	新潟大学 工学部 准教授 東瀬 朗さまによる講演 テーマ「安全文化と組織による事故防止」
事故再現	重篤事故の事故再現し要因分析と検証により、事故発生要因の理解を深めることで、社員一人一人が事故を自分事として考え、日々実行する契機とする。 ①バケット車からの墜落/電柱からの墜落/耐切削手袋効果の検証 ②身近な事故(転倒) ③抜柱作業における重大死亡事故(静岡) 防止に向けた取組み
危険体験	高所作業を中心にNTT作業で起こった事故の危険な状態を体感しその模様を視聴する事により危険への感受性を高めてもらう。 ①墜落等でのぶら下がり体験 ②落下物の衝撃体感、 ③VRを用いた疑似体感 等
アンケート	アンケート説明

図2 大会プログラム



写真1 梶原支店長 あいさつ

引き続き、情報通信エンジニアリング協会九州支部熊本支部長（写真2）より、「日頃から夏の暑い日も冬の寒い日も雨が降る中も安全に注意し、新型コロナウイルスの感染防止対策も徹底しながら作業していたできありがとうございます。

NTTグループにおいて全国で48件の人身事故が発生しており、その中には死亡事故が3件発生しています。九州は6件の人身事故が発生しており、1件は残念ながら長崎県の開通工事で電柱からの墜落により命を失いかねない重大事故が発生しました。基本的な作業・装備をしっかり守って作業に努めるようお願いいたします。

新年早々、静岡県で死亡事故が発生しました。基本的な使い方の問題があったと思われます。命を落とさないためには、安全が最優先という認識を持つように。現場の環境が悪い、装備や器具が十分ではない場合は、迷わず立ち止まって相談して安全ではない環境や装備および器具で作業しないよう徹底をお願いいたします。1人ひとりが自分の事として、自分だったらどうしたらよかったか、仲間を守るにはどうすればよかったか、ぜひ自分で考えて、それぞれの作業の中で実践願います。

皆様と一緒に無事故に取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。」とあいさつがありました。

### 3. 安全講話

新潟大学 工学部 協創経営プログラム 准教授の東瀬 朗先生に、『安全文化と組織による事故予防』と題して、安全に対する変化や事故の発生メカニズムと再発予防方法や安全文化等の考え方についてご講演をいただきました（写真3）。

## 4. 事故再現

今年度発生した事故やヒヤリハット事例について再現するとともに、原因および対策映像等から、再発防止を呼び掛けるとともに、同様の事故は、身近な職場や作業等でも起こりうる事例について紹介し、1人ひとりが自分事として考え、行動することの必要性を確認しました。

### 【高所作業車からの墜落】

高所作業車での作業中、通行車両（第三者）がSDワイヤを引っ掛け、その反動でバケット部から投げ出されて墜落した死亡事故の再現映像により、事故原因と事故対策を紹介しました（写真4・5）。

### 【電柱からの墜落事故を防ぐために】

昇柱作業中に墜落した事故の再現映像により、墜落に至る要因と正しい作業手順を紹介しました（写真6・7）。

### 【鎌による切創事故等の防止方法】

敷地内の草刈り作業を実施していた所、誤って左手親指と人差し指を鎌で切り負傷した事故の再現映像により、事故のポイントと正しい作業手順を紹介しました（写真8・9）。

### 【歩行中における転倒事故等の防止方法】

転倒事故の中で一番多い、歩行中の転倒事故の再現映像により、転倒パターンと危険ポイントおよび防止ポイントを紹介しました（写真10・11）。

### 【抜柱作業における重大死亡事故（静岡）防止に向けた取組み】

共架柱の抜柱作業中、穴掘建柱車にて電柱を吊り上げた際、穴建車が傾き電柱が揺れ、電柱が操作者に接



写真2 熊本支部長 あいさつ



写真3 東瀬 朗先生 講話

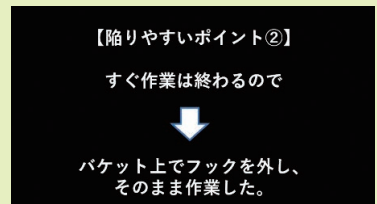


写真4 事故原因



写真5 事故対策



写真6 事故原因



写真7 正しい手順

触した死亡事故の説明映像により、事故概要と注意喚起事項と確認ポイントを紹介し、過去の類似事故の再現映像により、事故原因と事故対策を紹介しました（写真12・13）。

## 5. 危険体感訓練の様相

### 【転落時の衝撃体感】

転落時の衝撃の疑似体感は、ベルブロックを掛けた状態で前に倒れロックが掛かることで、どれほどの衝撃が加わるかを体感した映像により、フルハーネスと安全帯の衝撃の分散の違いを紹介しました（写真14）。

体感者感想：フルハーネスの重要性

を感じました。基本動作の徹底と安全を意識してフルハーネスの使用を行っていききたいと思います（写真15）。

カラビナ破断による墜落の疑似体感は、不適切な状態でセットされたカラビナに荷重をかけることで、破断した際の墜落の衝撃を体感した映像により、D環やD環の周辺に不要物を取り付けることによる危険性を紹介しました（写真16）。

体感者感想：切り離された時の衝撃はすごく速く感じて、切れた瞬間に対応しようとしても無理なのかなと実際に感じました。基本動作の徹底と目視だけではなく指差しできっち

りロック確認よしと言い、安全第一で行っていきと思いました（写真17）。

### 【宙づり体感】

宙づり体感は、安全帯やフルハーネスを着用して1本吊りの状態でぶら下がり、身体への影響を体感した映像により、装着の違いや締め方および負荷の和らげ方を紹介しました（写真18）。

体感者感想：吊られている時は、できることとできないことがあると分かりました。補助具を使って救助待ちを体感して待つのも大変だと思いました。宙づり状態を作らないため



写真8 事故のポイント



写真9 正しい作業手順



写真10 転倒パターン



写真11 防止ポイント

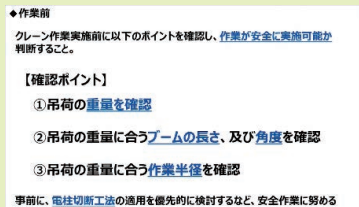


写真12 確認ポイント



写真13 事故原因



写真14 衝撃の疑似体感



写真15 体感者感想



写真16 カラビナ破断による墜落の疑似体感



写真17 体感者感想



写真18 宙づり体感



写真19 体感者感想

にも安全に補助具を使ってフルハーネスを使用したいと思いました(写真19)。

**【落下物の衝撃体感】**

落下衝撃体感は、クレーンで吊られサンドバックを落下させ、どの程度の衝撃を受けるかを体感した映像により、転落防止の必要性を紹介しました(写真20)。

**体感者感想：**日頃、バケット車作業等をやっていると高さに慣れてきて、落ちてもし受け身をとれば何とか甘んじながら考えることもあるが、今回の体感を受けて落下した場合に無事では済まないということを理解することができました。落下すると命が危ないと思って作業を行い無ロープ状態にならないようにフックの確認・回し掛け等を必ず行って作業したいと思いました(写真21)。

**【踏み割り体感】**

スレート屋根の踏み割り体感は、スレート屋根上を移動して踏み割り落下を体感した映像により、スレート屋根の強度の低さや落下の危険性を紹介しました(写真22)。

**体感者感想：**すぐ割れてビックリしたので、皆に踏んだら割れると伝えます。こういうカリキュラムを真似して体感できるようなものを職場で展開できればと思いました(写真23)。

**【飛来物の落下体感】**

飛来物の落下体感は、上部から飛来物の落下を体感した映像により、衝撃や保護帽および保安設置の必要性を紹介しました(写真24)。

**体感者感想：**飛来物落下の衝撃を間近で見て、日頃バケット作業をする我々は十分注意しないとイケないと改めて感じました。この体感を通じて第三者に落下物が当たらないよう

に保安設置の大切さを伝えていきたいと思いました(写真25)。

**【車両の死角体感】**

車両の死角体感は、運転席から見た死角範囲を体感した映像により、死角の確認と運転する前に車を一周して周囲の状況を確認することおよびシートを合わせることの重要性を紹介しました(写真26・27)。

**体感者感想：**周囲のコーンが全く見えなくて勉強になりましたので、周囲確認しながら運転していきたいと思いました(写真28)。

**【感電・短絡体感】**

感電・短絡体感は、感電の感覚や短絡に伴うアークの衝撃を体感した映像により、人体への影響や危険性および絶縁・養生の必要性を紹介しました(写真29・30)。

**体感者感想：**火花が散ったので驚き

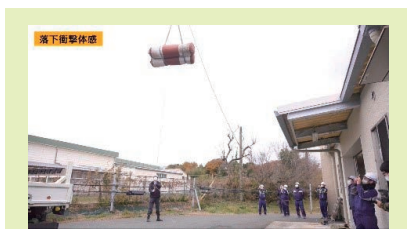


写真20 落下衝撃体感



写真21 体感者感想



写真22 スレート屋根の踏み割り体感



写真23 体感者感想



写真24 飛来物の落下体感



写真25 体感者感想



写真26 車両の死角体感 (車内)



写真27 車両の死角体感 (車外)



写真28 体感者感想

ました。電気の作業は気を付けたい  
と思いました（写真31）。

### 【脚立の開き・横倒れ体感】

脚立の開き・横倒れ体感は、体感  
者が脚立に上り、脚立の開き倒れ、  
および横倒れの状況を作ることで、  
脚立が不意に倒れる際の恐怖感を体  
感した映像により、脚立の開き止め  
金具や作業環境についての注意点等  
を紹介しました（写真32）。

### 【梯子の横・縦すべり体感】

梯子の横・縦すべり体感は、体感  
者が梯子に昇り、梯子の横滑りおよ  
び縦すべりの状況を作ることで、梯  
子が不意に滑る際の恐怖感を体感し

た映像により、梯子の立て掛け角度  
（約75度）や作業環境についての注  
意点等を紹介しました（写真33）。

**体感者感想：**脚立が想定外で開くと  
体のバランスが取れなかったりする  
ので、安全に使用しないと危険だと  
いうことが分かりました。梯子を立  
て掛ける際は、倒れない安全な場所  
に養生して作業しようと思いました  
（写真34）。

### 【低圧充電線路短絡体感】

充電線をペンチで切断し、短絡  
（ショート）に伴うアークの状況を  
体感した映像により、危険性や正し  
い作業要領（検電・1本ずつ切断・  
絶縁テープ）を紹介しました（写真

35）。

**体感者感想：**自分で切るタイミ  
ングで短絡が発生することが分かっ  
ても、音・火花・光におどろきまし  
た。高所作業や、不安定な体勢の時  
に体感すると非常に怖いと感じまし  
た（写真36）。

## 6. 閉会

NTT九州カンパニー代表 三浦  
社員と、情報通信エンジニアリング  
協会九州支部代表 内田社員の2人  
のリードにより、統一スローガンを  
唱和し大会を終了しました（写真  
37）。

